

ロシアが、米外交官たちに対する「ニセ旗」攻撃を警告

<https://www.infowars.com/posts/russia-warns-of-false-flag-attack-on-us-diplomats/>

RT

March 19, 2022



この画策と言われるものについての情報は、投降してきたウクライナの諜報部高官から得られたものである。

ロシア軍は、ウクライナの筋金入りのナショナリスト集団から、ある画策の存在を発見したと主張しており、これはウクライナの Lvov 市の、アメリカや他の西側諸国の、外交施設を狙うものだという。この発見といわれるものは、土曜日のメディア・ブリーフィングで、ロシア防衛省報道官、イゴール・コナシェンコフ少将によって通告された。

ワシントンと他の多くの西側諸国は、先月、ロシアによる軍事攻撃があった直後に、彼らの大使館スタッフを Lvov に移住させた。この都市は、ウクライナのナショナリズムの温床とみなされていて、首都キエフの西、ほぼ 500 キロにあり、ポーランド国境からわずか 50 キロの所にある。

この画策といわれるものの情報は、「ウクライナ安全保障省」(SBU) のある高官から得たもので、彼は、モスクワによると、自発的にロシア軍に投降してきたという。

「この高官は、破壊行動やテロリスト集団の、組織化と訓練に直接かかわっていて、ナショナリスト(ネオナチ)から解放された領域で仕事をしていた」と、コナシェンコは言い、この人物が、このような活動に巻き込まれた SBU 要員のリストを、ロシア軍に与えたのだとつけ加えた。

「私が強調したいことは、キエフ政府は、ナショナリストの隠している画策を十分に知っているのだが、それを防ぐ何の行動もできないということだ」と、彼は加えた。

この攻撃といわれるものの究極の目標は、それをモスクワのやったことにし、この出来事をテコにして、NATO 諸国にさらに多くの武器を供給させ、長く要求されていた飛行禁止区域を、この国に設けることなのだ、とコナシェンコは主張した。

モスクワは先月、その隣国に対して大規模な攻撃を行ったが、これはミンスク停戦合意の条件を、ウクライナが実行しなかったことに対する、7年間の睨み合いの後、初めて行ったもので、このときロシアは、ドネツクとルガンスクという、ドンバス共和国を最終的に認定した。ドイツとフランスの調停による確認書は、ウクライナ国の内部に、分離された国家としてのこの領域を常態化するものだった。

ロシアは今、ウクライナが、NATO 軍事ブロックに決して加入しない、中立の国家であることを自ら宣言するように要求している。キエフは、ロシアの攻撃は完全に挑発によらないものだと言うが、この2つの反乱共和国を、力によって奪い返す計画をしていたという言い分は、否定している。

[訳者 Greatchain 注]

このような完全に非人間的な「ニセ旗」攻撃の計画があることを知り、これをウクライナ軍の高官が、敵国であるロシアに、密かに教えたとはどういうことなのか？ 密告者が投降したというから、この残虐に対して彼自身が、これ以上耐えられなかったということではなかろうか？ 9・11 テロを、あなたが事前に知っていたとすれば、やはり同じことをするだろう。これはけた外れの犯罪、けた外れの恐怖であって、普通の戦争の感覚も人情ももたない、一部の異常な人間がいることを示すものがある。

彼らが殺すか、傷つけようと計画しているのは、自国の外交官である。そしてこれを、ロシアがやったと宣伝して、ロシア人を皆殺しにするか、戦争の拡大を狙っている。これは彼らの儀礼のような常套手段で、前にも言ったように、うまく騙せるかどうかは問題でない。「ロシアがやった」とメディアが大声で言えば、それで決定する。それがプロパガンダと言われる犯罪である。これに騙されたら恐ろしいことになる。そして恐ろしいのは、自分自身が犯罪者になることである。

今まさに、そういうことが起こっている。先ほどの NHK ニュースで、この一方的なプロパガンダをやっていた。しかし一方で、方々の学校で高校生たちが、この戦争を議論するようになったと言っていた。これはよいことである。今までこれがなかった。誰でも、心の中でこれは何かおかしいと思うはずである。本当に言われている通りなのか…。そう思ったら少しでも調べてみるとよい。疑ってみるということが今、最大に肝要である。ロシアには、反戦女性連合のようなものがあり、その特集をやるとも言っていた。もしこれが単に「とにかく戦争は止めよ」というだけの運動なら、そんなものは無意味だから、プーチン大統領の講義を集中して聞くべきである。彼は、人間の心の暗部に隠れて、民主主義や平和を偽装する、悪人どもがいることを知っていて（おそらく世界で一番よく知っていて）、それと戦っているのである。彼は「学校を狙って砲撃する」などという、誰が考えても馬鹿げたことを考えてはいない。彼は一方的な自分への攻撃に腹を立てるのではなく、「ニセ旗」プロパガンダに警告を呼びかけながら、自分が標的となったこの計略を、どう挫くかを考えているのである。

なお、このニュースの中で、「ネオナチ」などというものは存在しない、と言っている人がいたが、これは歴然と存在する。彼らは黒ずくめの装束で武装し、ナチスの鍵十字をやや変形した旗やバッジをもっている。これについて、おそらく最も詳しい説明は、Global Research というサイトの主宰者、Michel Chossudovsky のもので、ここからほとんど無限の、ネオナチの画像が出てくる。最も有名な集団は、Azov Battalion（アゾフ大隊）であろう。

また Sputnik International には、ウクライナのナチスに攻撃されたというウクライナ人の証言がいくつかあり、SOTN には、ウクライナ軍は傭兵を殺しているから早く逃げよと、残酷な動画付きで忠告するロシア兵が出てくる。事実を知らず、かつ調べもしないで、また肝心の、米=ウクライナによって意図的に設置された、大量の生物兵器に触れることもなしに——無責任な発言をするのはやめよ！